

令和5年度 一般財団法人川口中小企業共済協会  
事 業 計 画 書

1. まえがき

昨年の世界経済並びに日本経済は、新型コロナウィルス感染症の抑制と経済活動の両立が進み、持ち直しの動きが進んだ。一方、ウクライナ情勢等の地政学的リスク、それに伴う資源価格高騰等物価上昇圧力による影響等からその回復ペースは鈍化している。先行きについては、資源高や海外経済減速による下押し圧力を受けるものの、新型コロナウィルス感染症や供給制約の影響が和らぎ、各種政策効果も見込まれ緩やかに経済が回復していくことが期待されている。ただし、わが国経済を巡る不確実性は大きく多岐にわたっていることから、国内外の感染症や資源価格の動向、金融資本市場の変動等の影響には、十分注視していく必要がある。

一方、川口市内の中小企業においても、新型コロナウィルスの影響に加え、物価上昇の影響等もあり、サービス業、飲食業の他、幅広い業種で当面厳しい状況が続くと思われる。

2. 基本方針

地域産業の健全な発展、育成を図るため、信用保証事業をもって中小企業の振興に寄与するとともに、協会運営の一層の健全化に資することを基本方針とする。

3. 事業

(1) 信用保証事業

①川口市中小企業融資制度の債務保証業務

②当協会が独自に実施する融資制度の保証業務

③上記①②の相談

4. その他

コロナ禍の状況を踏まえて、可能であれば役員研修会を実施する等、当協会の質的向上を図るとともに、公益目的支出計画を着実に履行していく。